

令和4年度 英語教育推進中核教員研修 実施要項

- 1 目的 全府立高等学校*において英語教育の推進の中心的役割を果たす教員（中核教員）を育成する。中核教員は、ファシリテーターとして校内の英語授業改善の中心的な役割を果たすことで、各学校の英語科教員の指導力の向上を図るとともに、生徒の英語力の到達目標の設定や、教員の指導に関する意識の統一を図る。
- *平成31年度から3年間ですべての府立高等学校が対象となる悉皆研修である。

- 2 対象 府教育庁より指定された府立高等学校（岸和田市立産業高等学校の定時制の課程を含む）の校長・准校長から指名された者

募集人数 40名

3 内容等

回	日時	内容	講師等
1	5月20日(金) 14:00～17:00	社会の状況を踏まえた、求められる授業の在り方(理論編) 〔講演・演習〕	筑波大学 教授 卯城 祐司 大阪府教育センター 指導主事等
2	6月10日(金) 14:00～17:00	社会の状況を踏まえた、求められる授業の在り方(実践編) 〔講演・演習〕	関西学院大学 教授 泉 恵美子 大阪府教育センター 指導主事等
3 ・ 4	8月3日(水) 9:30～12:30 14:00～17:00	目標に応じた授業づくり (授業づくり①) 〔講義・演習〕	玉川大学 教授 工藤 洋路 大阪府教育センター 指導主事等
5 ・ 6	8月4日(木) 9:30～12:30 14:00～17:00	研究授業と研究協議の在り方 目標に準拠した評価の在り方 (授業づくり②) 〔講義・演習〕	関西学院大学 教授 泉 恵美子 大阪府教育センター 指導主事等
7	9月～11月上旬 14:00～17:00	研究授業の見学 〔講義・演習〕	大阪府教育センター 指導主事等
8	12月16日(金) 14:00～17:00	研究授業の検証 〔講義・演習〕	大阪樟蔭女子大学 教授 菅 正隆 大阪府教育センター 指導主事等
9	1月6日(金) 14:00～17:00	次年度の目標や授業の在り方 〔講義・演習〕	文部科学省 教科調査官 大阪府教育センター 指導主事等

※太字の時間帯は、通常の時間帯と異なるので注意してください。

- 4 会場 第1～6、8、9回
大阪府教育センター（大阪市住吉区菟田4丁目13番23号 電話06-6692-1882）

Osaka Metro 御堂筋線「あびこ」駅下車、東北東へ約700m
JR 阪和線「我孫子町」駅下車、東へ約1,400m
近鉄南大阪線「矢田」駅下車、西南西へ約1,700m

第7回 別途通知

- 5 担当室 高等学校教育推進室、高等学校課
- 6 その他
- (1) 受付は30分前から。
 - (2) 来所時には、所属名・名前が入った名札を着用すること。
 - (3) 自家用自動車・バイク等は大阪府教育センターに駐車できません。
 - (4) 事前に準備しておく事項があるので、シラバスを必ず確認すること。

個別募集

令和4年度 英語教育推進中核教員研修 シラバス

3429

1 目的

全府立高等学校において英語教育の推進の中心的役割を果たす教員（中核教員）を育成する。中核教員は、ファシリテーターとして校内の英語授業改善の中心的な役割を果たすことで、各学校の英語科教員の指導力の向上を図るとともに、生徒の英語力の到達目標の設定や、教員の指導に関する意識の統一を図る。

2 大阪府教員等育成指標の対象項目

OSAKA 教職 スタンダード	共通の指標														
	I			II			III			IV			V		
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
第4期															
第3期							○	○	○	○	○	○			
第2期							○	○	○	○	○	○			
第1期															
第0期															

3 研修課題とねらい等

回	研修課題	ねらい	内容	準備物・事前課題
1	社会の状況を踏まえた、求められる授業の在り方（理論編）	学習指導要領に基づいた授業づくりについて、講義、演習を通して学ぶ。	英語の5つの領域にわたる能力を育成するための指導法について、理論的な側面から学ぶ。	
2	社会の状況を踏まえた、求められる授業の在り方（実践編）	総合的なコミュニケーション能力を育成するための実践的な方法について、講義、演習を通して学ぶ。	英語の5つの領域にわたる能力を育成するための実践的な指導法について理解する。	
3 ・ 4	目標に応じた授業づくり（授業づくり①）	模擬授業を通して、授業構想のポイントについて理解を深める。	グループ単位で模擬授業を行い、これまでの授業の在り方を振り返り、授業改善に生かす。	準備物 ・使用している教科書もしくは副読本 ・レポート ⇒ ダウンロード 詳細については第2回に連絡

5 ・ 6	研究授業と研究協議 の在り方	各学校で実施する研究授業と研究協議の効果的な在り方について、講義、演習を通して学ぶ。	9月～11月に実施する各学校での研究授業、研究協議について、計画立案から実施までの手順を理解し、ファシリテーターとしての役割を理解する。	準備物 実施済みの考査 6部
	目標に準拠した評価 の在り方 (授業づくり②)	評価の在り方について、講義、演習を通して学ぶ。	テスト作りやルーブリックの作成について、具体的な方法を理解する。	
7	研究授業の見学	求められる授業の在り方について、代表校の研究授業を通して学ぶ。	代表校の研究授業の見学、その後の研究協議を通して、めざすべき授業の在り方を考える。	
8	研究授業の検証	各学校で実施した研究授業を振り返り、今後の指導の在り方について考える。	各学校の研究授業、研究協議について、グループディスカッション等を通して振り返り、授業改善につなげる。	事前課題 レポート ⇒ ダウンロード 詳細については 第7回に連絡
9	次年度の目標や授業 の在り方	次年度に向けての各校の目標について考える。	各学校の成果と課題を明確にし、次年度の目標設定や具体的な取組みについて考える。	事前課題 レポート ⇒ ダウンロード 詳細については 第8回に連絡